「ととりの村」って！・・・どんな村？
名づけ親は！・・・旭川市長です

ASAHIYAMA ZOO

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

旭山動物園の正門から！

入るとすぐ右手に「ととりの村」が見えます

手前にフラミンゴの放飼場があり、3種30羽のフラミンゴが緑に映えて見事な美しさを感じさせてくれています。

続いて、森と泉に囲まれた、およそ2千9百平方メートルの地を、巨大ネットで包み込んだ「ととりの村」に、今年は、多くの種類の雛が順調に育って、雛たちの群れが、とても可愛く、ごく自然の光景をかもし出しています。

「ととりの村」は ひながいっぱい！

見にきてね！「ひなの成長ぶり」

名前の由来も展示しています

・ふしぎ発見・なにか見つけてね！（No. 38）

（飼育展示係の人をさがして聞いてみてください！）

世界のハクチョウ（ガンカモ目・ガンカモ科）

生息分布域＝世界には、5種のハクチョウがいます。**旭山動物園の「ととりの村」では5種とも飼育展示していますので、比べながら観察することができるのです。**

①コブハクチョウは、ユーラシア温帯域、北アメリカ、南アフリカ、オーストラリア。

②オオハクチョウは、アイスランドとユーラシア大陸の中・高緯度地域。

③コハクチョウは、オオハクチョウよりも北のユーラシア大陸の高緯度地域。

④コクチョウは、オーストラリア。

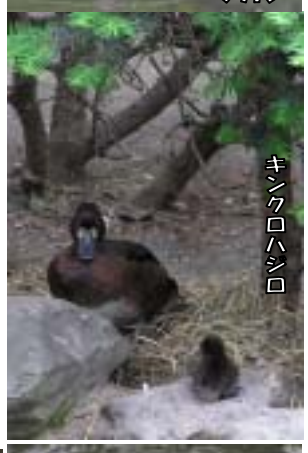
⑤クロエリハクチョウはブラジル以南の、南アメリカとフォークランド諸島やフェゴ島。

㊟ いずれの種も移入などによって右記に示した分布と異なるところもあります。

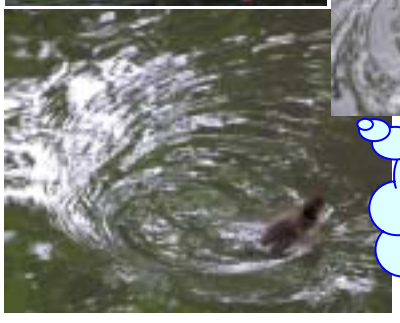
食べ物＝植物食で、陸上では草を食べ、水辺で植物を引き抜いて採食するのがふつうですが、ハクチョウ類の一部は、農地でも採食するようになり、始めは草や伸びた作物を食べていましたが、近頃では落ちている穀粒や豆、トウモロコシやジャガイモの塊茎なども拾って食べています。

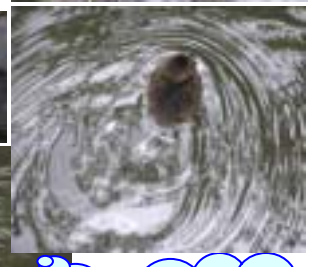
その他＝ハクチョウ類の多くは、成鳥になるのに2～3年かかり、つがい関係は一生保ちます。

抱卵はメスだけですが、ひなが孵った最初の冬は両親でずっと子のめんどうをみて、次の繁殖期が始まるときに子別れをします。



コクチョウとハクガンの親子





ひなが描く水辺の芸術